No. 1

日本協働機構 教-36-1

２０１９（令和元）年度全国地域青年実践大賞
アピールレポート（設問有り）

※書くことで活動の振り返りもできます。団員みんなで議論しながら思う存分活動のアピールをしましょう。

応募団体名　　石井町青年団

応募部門	□地域活動の部　■教宣活動の部				
活動の名称	ふじっこちゃんダンスを地域ひっくるめて踊ってみた企画				
活動期間	令和１年９月７日～　令和１年12月27日				
主な活動日	会議：平日19時以降平均週２日　撮影：週２～３日（平日時間が空けられる日）				
活動場所	石井町青年団事務所	関係者数	８人	参加者数	約200人
活動概要	（200文字程度） 石井町のゆるキャラ「ふじっこちゃん」にちなんだ「ふじっこちゃんダンス」という、町内幼稚園児は全員踊れるようなダンスがある。 町内のボランティア団体・商工会・行政など、あらゆる団体を巻き込み、町内みんなで石井町をアピールできる動画を撮影し、全世界へ発信できるSNSや、町内の人が楽しめるTVなどへ発信した超大作企画。				

※「いつ、誰が、どこで、どのように、何をした、その理由は？」の5W1Hがわかるように、できるだけ具体的に書くことを心がけてください。

・応募された地域活動や教宣活動を始めたきっかけ、目的、趣旨を教えて下さい。

石井町青年団はイベント・企画を中心とした活動から、社会教育を学ぶ団体である。

夏祭りが終わり、団員内で会議していたところ、団長から「行政や、商工関係会・ボランティア団体を巻き込み、団体の垣根を超えた石井町のPR動画を作成しませんか？」という声が上がった。

青年団活動を通して、町内のあらゆる団体に協力して頂くことが多く、その中で、それぞれの団体に対して思うところがあった。

まず、青年団活動を行う中で、常に役場の各課にお世話になるが、その中で日常的に活用できる知識がたくさんある。しかし、団員ですら普段役場にどんな課があるのか、どんな情報があり、それが生活の助けになるのか知らないことが多い。確かに、用事がないと役場に行くことはなく、その相談が役場で解決出来るものかどうかの判別は、知らないとできない。

これだけフランクに相談できる場所なんだという、アピールができるきっかけになればよいと考えた。

次に、石井町には、色んなお店があり、県外からわざわざ食べにくるようなカレー屋さんや、全国から取り寄せの殺到する豚肉専門店など、隠れ名店が多い。それはまず知ってもらう事が大切であるが、某飲食店広告や、タウン誌などを見ても選択肢が多く、お客さんは決めきれないの

が現状である。

お店の良さは、人の良さであると考える。その人柄をアピール出来る動画を作り上げたいと考えた。

最後に、石井町内のボランティア団体は、30団体を超える。各団体とても素晴らしい活動を行っており、個性あふれる団体が多い。

しかし、町内の人でさえ知られていない団体も複数あり、活動内容が見られるシーンが少ない。縁の下の力持ちも、知られる必要はあると青年団は考えており、2019年の青年団は「活動の見える化」を目標にSNSを主に活用し、頑張ってきた。他の団体も同じように知ってもらう努力は必要となってくる。活動は、継続性が必要であり、人口も減り、選択肢の多い現在では、継続させることでも難しい。そこで、石井町青年団だけを知ってもらうのではなく、素晴らしい団体が石井町内にはたくさんあることを知ってもらう必要があると考えた。

これらの目的を一つにでき、石井町のPRに繋がるものを試行錯誤する中で、一つの動画を思いついた。

それは、当時一世風靡したAKBの「恋するフォーチュンクッキー」の「踊ってみた企画」を思い出し、その方法に準じて動画を作成することである。

団員一同その案に対し大賛成だったので、企画を練り上げた。

ただ、各団体の紹介動画を作っても、見てくれる人は限られており、不特定多数に知ってもらうには、面白い動画・広めたい動画にしなければならない。

石井町ならではというブランド力を考ると、石井町には「ふじっこちゃん」というゆるキャラが老若男女に周知されており、そのふじっこちゃんが躍る「ふじっこちゃんダンス」というものがある。このダンスは、幼稚園児の運動会などで必ず躍るようなダンスであり、石井町民は誰もが知っているダンスとなっている。

そこで、このダンスで各団体に声掛けを行い、石井町全体で踊ってみた動画を作成することとなった。

・活動に取り組むにあたっての仲間の反応、地域の声などを具体的にお書きください。その際、苦労した点や自分たちなりに立てた目標など具体的なエピソードをいれてください。

最初に、ボランティア連絡協議会で、時間を頂き、皆さんにお願いをした。資料を配り、説明を行った。しかし、反応は良くなく、2団体が参加を表明してくれたが、その他はダメであった。

次に商工会定例会で、参加をお願いした。しかし、元青年団員であった商店は、参加を表明してくださったが、それ以外は渋い顔をされ、反対された。

石井町役場では、町長が参加することとなったため、参加してくださる課は出たが、それでも批判的な意見は多く、半分以下の6課が参加することとなった。

動画を完成させるためには、少なくとも30団体必要であり、企画スタートの段階では、8団体しかいなかった。

企画書に書いた作成期日や完成予定日時を考慮すると、企画倒れしていまう恐れが十分にあった。

緊急で青年団会議を行い、それぞれ担当を決め、一軒一軒時間を作ってもらい、企画を1から説明し、各団員がお願いして回った。撮影開始期日前日、各団員の努力が実り、約30団体のメン

バーが揃った。
スタートラインに立てたことに団員一同安心し、協力団体の皆さんに心から感謝した。

・つくるにあたり大変だったことなどがあればお書きください。

撮影の工程として、①レクチャー ②練習 ③本番撮影④編集となっており、レクチャーをするにもこちらが踊れないとできない。そのため、まず団員全員が短期間に踊れるように、集まれる日は毎日集まり、ダンスの練習を行い、各自、家でも個人レッスンを行った。全員が短期間内で踊れるようになることが最初の壁となった。
次に、撮影協力団体との日程調整が整わず、それぞれ有給休暇を消化し分担した。
団員それぞれ全く違う職種であるために、日を合わせることがなかなかできず、大変だった。
撮影者ごとに取り方が違うと、動画の見栄えも悪くなるので、動画撮影の講習も行い、それぞれ一定基準の撮影を行えるようになった。
動画編集に関しても、誰もその技術は有しておらず、この編集を委託できるほどの予算などもちろんないため、1から編集技術を本やインターネットの教材を活用し、今後必ず役に立つ技術であると日々、睡眠時間を削り勉強した。

・その活動によって、仲間、地域、参加者にどのような影響や成果を与えましたか。
教宣活動の部への出展の場合は制作したことによる効果などをお書きください。

企画・構成・参加者呼びかけ・ダンスレッスン・撮影・編集と新たな分野へのチャレンジを団員一丸となって行い、団結力は更に深まった。
最初、参加に対して否定的だった団体も、撮影を行ううちに、「こんな内容なら、また参加したい」と賛同の声へと変わった。
完成動画の試写会を行い、参加団体の皆さんに見て頂いた時、評価が高く、たった3分程度の動画でたくさんの笑いと歓声が上がった。
有線放送にも、取り上げられ、交渉の結果、1月～3月の毎週水曜日・木曜日の6回/日は誰もが見られることとなり、石井町役場のHPにも期間限定で掲載されることになった。
この動画を全国的に発信するため、youtubeへ投稿を行い、日々再生数も伸びている。
現在、町民の皆さんから、「ふじっこちゃんダンスみたよ！すごいな！」「あの動画いいな～」「次やるときは、うちも声かけてよ」など、たくさんの応援メッセージをいただくようになった。
団員はみな、達成感と結果を身に染みて感じることができ、やる気と町内活動の意義を更に深めることができた。また、一部の団員にとっては、映像制作の技術や編集技術を高めることができ、私生活に生かすことができるようになった。
役場では、ふじっこちゃんダンスの話題をふってくる利用者が増え、コミュニケーションをはかる一つのきっかけになったとの報告があった。
商工店には、ダンスを見たお客さんがよく来くるようになったとの報告があり、ボランティア団体は、検索件数が増えたり、メンバーの絆が深まったとの報告があった。
それぞれの団体に効果を発揮し、強弱あるも影響を見せた。

SNS でこの活動をアピールしたところ、町内外でよい反響を得ることができ、すべての目標を達成したと自負している。

今後の青年団活動に大きくプラスの影響を出せたことにとても幸せを感じており、次の活動に団員ともども身が引き締まる。

教－36－1

２０１９（令和元）年度全国地域青年実践大賞
教宣活動の部　出品表

応募部門　□映像・放送　□ウェブサイト　■ＳＮＳ　□ユニフォーム　□グッズ

※☑を入れて下さい。

応募団体名　石井町青年団

活動内容	活動の名称	ふじっこちゃんダンスを地域ひっくるめて踊ってみた企画				
	活動期間	R1年 9月 7日 ～ R1年 12月 27 日	主な活動日	期間内平日2～3日（19時～）		
	進行状況	A 企画中　B 準備中　C 活動中　Ⓓ すでに終了　F その他				
	活動場所	石井町青年団事務所	関係者数	8人	参加者数	200人

https://youtu.be/Q9TILJxP84s

タイトル　ふじっこちゃんダンス

制作人数（　8　）人　制作数（　1　）　制作費（　0　）円

作品のねらい・活用方法

この動画は、ボランティア団体・商工会関係・行政などあらゆる垣根を超えた、石井町一丸となって撮影した動画であり、石井町PR動画となっております。

石井町青年団が、企画・構成・ダンスレッスン・撮影・編集・投稿まで全て行い、現在、石井町役場公式HP、有線放送や石井町青年団YouTubeにて閲覧可能であり、町内外の皆さんが楽しんでいただける石井町PR動画・町おこし動画として公開されています。

周囲からの反応や作品の効果、成果

最初、参加に対して否定的だった団体も、撮影を行ううちに、「こんな内容なら、また参加したい」と賛同の声へと変わった。

完成動画の試写会を行い、参加団体の皆さんに見て頂いた時、評価が高く、たった3分程度の動画でたくさんの笑いと歓声が上がった。

有線放送にも、取り上げられ、交渉の結果、1月～3月の毎週水曜日・木曜日の6回/日は誰もが見られることとなり、石井町役場のHPにも期間限定で掲載されることになった。

この動画を全国的に発信するため、youtubeへ投稿を行い、日々再生数も伸びている。

現在、町民の皆さんから、「ふじっこちゃんダンスみたよ！すごいな！」「あの動画いいな～」「次やるときは、うちも声かけてよ」など、たくさんの応援メッセージをいただくようになった。

団員はみな、達成感と結果を身に染みて感じることができ、やる気と町内活動の意義を更に深めることができた。また、一部の団員にとっては、映像制作の技術や編集技術を高めることができ、私生活に生かすことができるようになった。

役場では、ふじっこちゃんダンスの話題をふってくる利用者が増え、コミュニケーションをはかる一つのきっかけになったとの報告があった。

商工店には、ダンスを見たお客さんがよく来くるようになったとの報告があり、ボランティア団体は、検索件数が増えたり、メンバーの絆が深まったとの報告があった。

それぞれの団体に効果を発揮し、強弱あるも影響を見せた。

SNSでこの活動をアピールしたところ、町内外でよい反響を得ることができ、すべての目標を達成したと自負している。

今後の青年団活動に大きくプラスの影響を出せたことにとても幸せを感じており、次の活動に団員ともども身が引き締まる。

アピールポイント（見てほしい点、自慢したい点など）

動画はすべて団員が作成しました。

石井町民の温かさが一目でわかる動画となっています。また、各団体アレンジされており、個性が出ています。

全団体、撮影段階では、音楽は流さず、カウントで踊って頂いた。理由は、音楽に合わせて踊ると、テンポが速いため、高齢の方は踊れない人が多かったからです。そのため、編集段階で、アテレコを行い、音楽に合うように、倍速調整を行いました。全団体それどれ踊りやすいテンポ踊ったため、倍速調整がコンマ単位で調整をかけて仕上がっています。更に、ダンスが終わるシーンのみ、余韻を残してフェードアウトできるよう、徐々にスロモーションになっています。